

東京医科歯科大学 産学連携情報交流会のご案内

～産学連携のきっかけづくりを支援します～

- 【日 時】平成30年8月24日（金）14時～17時
【会 場】東京医科歯科大学 M&Dタワー（文京区湯島 1-5-45）
【対 象】区内製造事業者および情報通信事業者
【定 員】30名（先着 申込順）
【参加費用】無料
【申込方法】電話、メールまたはFAX（裏面参照）

■開催趣旨■

産学連携に興味があるが、どこに相談をすれば良いか分からない、大学や研究機関は敷居が高いと感じている企業様の声を数多く頂いております。

そこで、医学部、歯学部、大学院、研究所、附属病院などで構成される日本唯一の医療系総合大学院大学であり、区内企業との連携実績もある東京医科歯科大学との情報交流会を開催いたします。

当日は産学連携担当者による産学連携の取り組みの紹介のほか、各分野の教員の方から最新の研究内容についてご説明いただきます。

今回、教員の方も連携に関心をお持ちであり、かつ、最先端の研究や治療方法等に触れる貴重な機会ですので、ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。

■情報交流会の内容■ ※予定は変更する可能性があります

13時50分

東京医科歯科大学 M&Dタワー24階 集合
（※詳細は参加者に別途ご案内します）

14時

東京医科歯科大学概要説明
各分野の研究者による講演と情報交換（2分野）

①循環器内科分野

東京医科歯科大学 医学部附属病院 循環器内科 助教 梅本 朋幸 氏

②整形外科分野

東京医科歯科大学大学院 整形外科学分野 助教 藤田 浩二 氏

16時30分

質疑応答・まとめ

17時

解散

各研究分野の紹介

【循環器分野】

東京医科歯科大学 医学部附属病院 循環器内科 助教 梅本 朋幸 氏

● どういう治療方法が行われているのか

循環器疾患の治療方法は、薬剤による治療（飲み薬や注射薬）と手術による治療に分けられます。従来からある外科的な手術は心臓血管外科医により行われますが、循環器内科では近年急速に拡大しているカテーテル手術が行われております。カテーテル治療の方法は、対象とする疾患により若干異なりますが、基本的には血管の中に細い管（カテーテル）を通過させて治療を行います。歴史的には、冠動脈という心臓を栄養している血管が狭くなっている箇所を風船型カテーテルで広げるバルーン治療が最も古く、40年ほどの歴史があります。最近では、不整脈や心臓弁膜症に対するカテーテル治療などが開発され、急速に普及しています。また、カテーテルは治療だけでなく、病気の診断のために検査（カテーテル検査）として行われることもあります。特殊な不整脈に対しては、ペースメーカーや植込み型除細動器など体内に機器を植え込む治療法もあります。血圧が低下した重症患者に対しては、人工心肺や補助人工心臓を使用することもあります。

【整形外科分野】

東京医科歯科大学大学院 整形外科学分野 助教 藤田 浩二 氏

● どういう治療方法が行われているのか

整形外科の治療の基本は保存治療です。診断に合わせて、リハビリを行ったり、内服・外用を行ったり、ギプスを装着したりしますが、それでも症状の改善が期待できない場合は、手術治療が行われます。手術は部位ごとに多岐に渡ります。

【申し込み方法】 電話、メールまたはFAXでお申込みください。

産学連携情報交流会参加申込書（メール・FAX用）

企業名・参加者のご氏名・電話番号・メールアドレスをご記入下さい。

※当日の連絡先（携帯電話番号など）もご記入ください。

※必要事項をご記入の上、メール(sho-mono-sangyo@city.shinagawa.tokyo.jp)

もしくは、FAX（03-5498-6338）でお送り下さい。

※FAXの場合は参加申込書を切らずにそのまま送信ください。

※当日の詳細は参加者に別途ご連絡いたします。

【お申込み・お問合せ】

品川区商業・ものづくり課

（担当：黒田）

品川区西品川1-28-3

電話 03-5498-6351